

英語を読む

野瀬 隆平

ページ全体が、細かい活字でびっしり埋まっていた。大学入試の英語の問題が掲載されている新聞である。その一つに「下線部を和訳せよ」というのがあった。

コンフォート・フードについて説明した、およそ 30 行からなる英文の一部を翻訳させる問題である。ルーペを片手に読み進める。下線の部分は、確かに全文の要点を述べた箇所で、読解力を見るには的確な設問だと思った。その英文は：

Right from the start food becomes a way to satisfy our feelings, and throughout life feelings influence when, what and how much we eat.

どう訳せばよいのか。ここで、遊び心から A I の翻訳ソフトに訳させてみることにした。打ち出されてきたのは、

「食べ物は最初から感情を満たすための手段であり、生涯を通じて、いつ、何を、どれだけ食べるかは感情に左右されるのです」という文章。

日本語としておかしくないが、云いたいことが今一つはっきりと伝わって来ない。そこで別の翻訳ソフトに読み込ませると、

「食べ物は最初から私たちの感情を満足させるものであり、いつ、何を、どれだけ食べるかは、一生を通して感情に影響を与えます」と出てきた。

あれ、後半の部分の意味が全く逆ではないか。「感情に影響を与えます」は、明らかに誤訳だ。

文章全体を読めば、「食」と「感情」の関係は双方向的なもので、お互いに影響し合うと云っているのは明らかである。英文の後半に、女性がふられてケーキをまるごと爆食いするという話が出てくることから、理解できる筈である。

従って、あえて意識するならば、

「小さい頃から食べ物は私たちの感情を満たすものであるが、一方、感情がどんな時に、何をどれだけ食べたいか、一生を通して影響を与え続ける」となるであろう。

ちなみに、新聞には有名予備校が作った解答例が掲げられていた。

「幼少の頃から、食べ物は我々の気持ちを満たすための手段になり、生涯にわたって、気持ちは我々がいつ、何を、どれだけ食べるかに影響を与える」

さて、この回答に採点する先生は何点つけるだろうか。